

## ●●●●● 巻頭のことば ●●●●●

# 一人一人が輝く活力ある学校づくりを目指して —変化に対応できる「人財」の育成に向けて—

我が国は、グローバル化の進展をはじめ、技術革新の飛躍的な進化など、変化の時代を迎えています。また、社会構造や雇用、自然環境の変化は著しく、今後も急速に進んでいくことが考えられます。そして、今般のコロナ禍により、国内外の情勢は大きく様変わりし、誰もが経験したことのない状況が続いております。私たちは「新しい生活様式」に適応しつつ、安心・安全な日常生活を取り戻す努力を続けていかなければなりません。

このような時代において、子供たちがたくましく、よりよく生きる力を身に付けるため、学校教育に寄せられる期待はますます大きくなっています。変化に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力、学び得た知見や経験から新たな価値を創造する力など、「持続可能な社会の担い手」として、我々を取り巻く多様な変化に、柔軟に対応できる力をもった「人財」の育成が求められています。

本県では、このような社会情勢を鑑み、「茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」において、「グローバル社会で活躍する『人財』育成」を目標に掲げております。

人格の完成を目指す教育の目的は普遍的なものでありますが、教育の在り方については、時代に応じて柔軟に変化していくことが必要です。これまで取り組んできた教育活動について、時代や社会が求める「人財」育成の観点から大胆に見直し、新たな教育の在り方を創造していく時期であると言えます。

GIGAスクール構想による1人1台端末を効果的に活用した授業づくりや、教職員の働き方改革など、教育における様々な課題と向き合い、現下の予測困難な状況にあっても、未来に生きる子供たちと共に前進していきたいと考えております。

本冊子は、茨城県の公立学校、市町村教育委員会、幼児教育施設等における指導や研修の指針となるよう作成したものです。本方針の趣旨をご理解いただき、日常的、計画的に活用いただくことで、自身の資質向上と教育活動の充実につなげるとともに、校内等における研修の工夫改善に生かしていただくことを切に願います。

未来を担う茨城の子供たちの教育に、教職員一人一人が情熱と創意工夫をもって携わり、「一人一人が輝く活力ある学校づくり」が実現されることを期待いたします。

令和3年4月

茨城県教育委員会教育長  
小泉 元伸